

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
麻生情報ビジネス 専門学校北九州校	平成8年3月4日	竹内 常高	〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野 2丁目11番33号 (電話) 093-533-1133				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999				
目的	デッサン、色彩などの演習を通してデザインの基礎を学ぶ。また、グラフィックデザイン、Webデザイン、CG・映像、イラストレーションなどの各専門領域の理論と演習を通して、デザイン制作の実践力を身に付ける。加えて、コンテストへの参加、修了・卒業制作を通してデザインセンスを磨き、クリエイティブ業界で幅広く活躍できる人材を目指す。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化教養専門課程	CGデザイン科	平成19年文部科学省告示第21号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1954	368	1586			
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80人	25人	2人	10人	12人			
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期:4月1日から8月31日まで ■後期:9月1日から3月31日まで 	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 「教育目標」に準じた総合評価を行う。評価はS・A・B・C・Dの5ランクとする。 				
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月23日～1月5日 ■春季:3月1日～3月31日 	卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> ア. 指定科目すべての履修・修得 イ. 卒業基準検定の取得 ウ. 出席率が90%以上 エ. 学生としてふさわしい生活態度 				
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 本人、保護者への電話連絡等を行う。 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 ボランティア等 ■サークル活動: 有 				
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 デザイン業界、クリエイティブ業界 ■就職率^{※1}: 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 88.2% ■その他 <p>(平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定等	<ul style="list-style-type: none"> Illustratorクリエイター能力認定試験 Photoshopクリエイター能力認定試験 Webクリエイター能力認定試験 				
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 3名 平成27年4月1日 在学者 33名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 29名 (平成28年3月 卒業者を含む) ※CGクリエイタ科へ2名転科、CGクリエイタ科から1名転科。 ■中途退学の主な理由 経済的理由1名、進路変更2名 ■中退防止のための取組 担任、学校カウンセラーによるガイダンス、家庭への電話連絡や三者面談の実施。 						
ホームページ	http://www.asojuku.ac.jp/abkc/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

学生の主な就職先であるクリエイティブ業界、デザイン業界においては、顧客が求めるデザインが出来る人材、企画、提案も含めた総合力を持った人材が求められている。そのような人材を育てる教育課程を編成するには、企業等との連携が不可欠である。そのため、本校では、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、業界で仕事をされている兼任教員や、学生の就職先企業の方との意見交換を随時行う。さらに、インターンシップ先に評価表を書いていたいたり、就職先企業に対しお客様アンケートを実施したりすることにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことにより得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年6月20日現在

名前	所属
竹内 常高	麻生情報ビジネス専門学校北九州校 校長
高橋 賢二	麻生情報ビジネス専門学校北九州校 校長代行
角屋 隆之	北九州市 産業経済局 企業支援・産学連携部 情報・通信産業担当
宮原 寿光	(株)RAID 代表取締役社長
上田 浩二	ガレージィンク 代表
白石 和行	麻生情報ビジネス専門学校北九州校 教務部 リーダー

(開催日時)

平成27年度第1回	平成27年 7月 3日	17:30~17:55	全体会	18:40~19:20	分科会
平成27年度第2回	平成27年11月30日	17:30~17:50	全体会	16:30~17:25	分科会
平成28年度第1回	平成28年 6月 7日	17:00~18:00			
平成28年度第2回	平成27年11月11日	17:30~17:50	全体会	16:30~17:25	分科会

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等でのヒアリング及びお客様アンケートの情報に基づき、デザインの仕事全体を理解させ、単なるお絵かきではない、仕事として行う商業デザインというものを実感させる授業を、企業との連携により実施する。

また、企業の方から直接指導していただくことにより、企業が求めるレベル、顧客が求めるレベルを認識させる。

科目名	科目概要	連携企業等
進級制作 I-A	1年次に学んだことの集大成として、企業における制作工程と同様の工程で作品制作をすることにより、実践的かつ専門的な能力を身に付ける。	ナカムラタツヤデザインルーム
卒業制作 A	1年次、2年次で学んだことの集大成として、企業における制作工程と同様の工程で作品制作をすることにより、実践的かつ専門的な能力を身に付ける。	ナカムラタツヤデザインルーム

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「学校法人麻生塾 教職員研修規程」に基づき、計画的に教員を研修に参加させる。

研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

CGデザイン科においては、クリエイティブ業界、デザイン業界において必要とされる、実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される、職能団体や企業が実施する研修やセミナー等に、積極的に教員を参加させる。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年6月20日現在

名 前	所 属
岩本 康明	福岡県立小倉商業高等学校 校長
小牟田 尚美	ゲームクリエイター科2年生の保護者
安田 和英	地域住民代表
西村 祥子	システムエンジニア科平成21年度卒業生
小峰 正仁	(株)メンバーズ 取締役 兼 常務執行役員
森田 良一	バリエーションソフト(株) 代表取締役
河上 和弘	(株)ジーン 第一開発事業部 事業部長
宮原 寿光	(株)RAID 代表取締役社長
上田 浩二	ガレージインク 代表
伊藤 洋平	(株)安川ビジネススタッフ 営業企画本部 営業企画課長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_abkc.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (麻生専門学校グループ)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/abkc/> (麻生情報ビジネス専門学校北九州校)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程CGデザイン学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			CG概論 I	CGデザイン制作のための基本的な知識の習得 CGクリエイタ検定の受験対策	1 後	48		○			○		○		
○			色彩演習 I	色彩についての基礎知識を演習を通じて学習する。 色彩検定2級の受験対策。	1 前後	72			○		○		○		
○			色彩演習 I	色彩についての基礎知識を演習を通じて学習する。 色彩検定2級の受験対策。	2 前	48			○		○		○		
○			デザイン概論 I	デザインについての基本知識について学習する。	1 前	48		○			○		○		
○			デザイン概論 II	デザイン概論 I を基本とし、デザインについての知識、歴史などについて学習する。	2 後	24		○			○		○		
○			デッサン	石膏像、静物などを鉛筆デッサンし、正確な描写力と観察力を養う。	1 前後	96			○		○			○	
○			POP演習 I	レタリングを通じたタイポグラフィからPOP広告の知識と技術の基礎を習得する。	1 後	24			○		○			○	
○			POP演習 II	1年次に習得した知識と技術を応用し、より実践的な課題制作を行う。	2 前	24			○		○			○	
○			表現技法 I	主としてアナログ的な表現手法を通じ、課題制作を行う。	1 後	24			○		○			○	
○			表現技法 II	表現技法 I を基本としクリエイティブな表現力を養うための課題制作を行う。	2 前後	72			○		○			○	
○			CG演習 I	デザイン制作に不可欠なグラフィック用アプリケーションの知識と技術の基本を学習する。	1 前後	96			○		○		○		

○		Office演習 A	WindowsOSの機能についての学習とWordやExcelといったアプリケーションの操作実習をおこなう。	1 前	24			○	○	○							
○		Office演習 B	MOS検定試験対策、Word、Excelを使った課題制作実習をおこなう。	1 後	30			○	○	○							
○		作品プレゼンテーション演習 I-A	作品コンテスト応募作品を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	1 前	20			○	○	○	○						
○		作品プレゼンテーション演習 I-B	進級制作を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	1 後	30			○	○	○	○						
○		作品プレゼンテーション演習 II-A	作品コンテスト応募作品を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	2 前	20			○	○	○	○						
○		作品プレゼンテーション演習 II-B	卒業制作を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	2 後	30			○	○	○	○						
○		デザイン制作演習 I	作品コンテストへの応募を中心とした作品制作実習（1年次）	1 前	40			○	○	○	○						
○		デザイン制作演習 II	作品コンテストへの応募を中心とした作品制作実習（2年次）	2 前	40			○	○	○	○						
○		進級制作 I-A	1年間で習得した知識、技術を応用し、進級作品制作。（前半）	1 後	76			○	○	○	○	○					
○		卒業制作 A	1年間で習得した知識、技術を応用し、進級作品制作。（前半）	2 後	76			○	○	○	○	○					
○		文章表現 I	就職活動で必要とされる国語力、作文制作力を養う。	1 後	24			○	○	○	○						
○		文章表現 II	国語力、作文制作力に加えてビジネス文書作成術などについて学習する。	2 前	24			○	○	○	○						
○		GCB I	感謝心と思いやりの教育	1 前	16			○	○	○	○						
○		GCB II	志の教育	2 後	16			○	○	○	○						

○		就職実務Ⅰ-A	就職ガイドブックを中心に使用し、就職活動へ向けての導入、指導。また自己分析により就職へのビジョンを導き出す。	1 後	24		○		○	○			
○		就職実務Ⅰ-B	より具体的に就職活動に必要な心得、活動の進め方の指導。求職面接、就職行事などへ参加する。また履歴書の書き方や面接の練習を行う。	1 後	24		○		○	○			
○		就職実務Ⅱ-A	就職試験対策として、学生への個別就職ガイダンス、面接練習を行う。	2 前	24		○		○	○			
○		就職実務Ⅱ-B	就職試験対策として、学生への個別就職ガイダンス、面接練習を行う。	2 後	24		○		○	○			
○		教養講座Ⅰ	就職試験対策してSPI対策、基礎教養講座を行う。	1 後	24		○		○			○	
○		教養講座Ⅱ	就職試験対策してSPI対策、基礎教養講座の継続、応用。	2 前	24		○		○			○	
○		マナー講座	社会人になるにあたってのマナーの基本を確認する。	2 後	24		○		○			○	
合計				46科目		1954単位時間							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
ア. 各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。 イ. 卒業基準検定を取得していること。 ウ. 学年の出席率が90%以上であること。 エ. 学生としてふさわしい生活態度であること。 上記を満たせない者は、他の検定資格、学習態度、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。 ※留年した者は、その学年の全科目を再履修しなければならない。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。